

整理番号	14	作成日	平成 18 年 6 月 20 日
事業名	ヤングほっとワークえどがわ		
所属名	生活振興部 地域振興課 生活就労支援係	電話番号	(03) 5662-0516 (直通)

**《事業の目的及び概要》** **《事業の開始年度》** 平成17年度

15歳から24歳までの完全失業率は9.0%（平成18年4月。全年齢層では4.3%）となっており、若年者の就労問題は日本社会の課題です。一方、若年者が就労の機会を得て、生きがいをもって働くことは地域が活力を維持し、高めていくために重要です。

本事業はこれらの社会的、地域的ニーズに応じて若者の就労を支援するとともに、若者の就労に関わる地域関係者へ必要な情報提供を行うことを目的として設置しました。

- ・所在地：江戸川区船堀3-7-17 第5トヨダビル6階
- ・時間：月～金 9時30分～16時30分
- ・利用者が就職決定を得られるよう、以下の支援を実施しました。目下、支援プログラムの拡大充実に努めています。

心理支援（カウンセリング）  
 技能支援（適正診断、面接の受け方等）  
 関係者支援（保護者相談など）

**対象者** → おおむね35歳未満の方及び保護者などの関係者

**活動指標**

活動指標	利用者数（登録者数）	活動指標	利用者数（延人数）
17年度	109人 (16年度) ***	17年度	1,671人 (16年度) ***

**成果・目標指標**

成果・目標指標	就職決定者数	成果・目標指標	
17年度	36人	20年度目標	50人
		17年度	20年度目標

ヤングほっとワークえどがわの周知及び利用者の就労に努めます。

**経費の概要**

17年度 事業実施経費 7,616千円

内訳 ↓

利用者一人あたりの経費は 69,872円です。

【人件費と担当職員数】	ア 常勤職員	0.3人
	イ 非常勤職員	1.0人
	ウ 臨時職員	1.0人
	7,091千円	

**経費の説明**

開設は17年4月25日。開設のための初期経費（1,938千円）を含む額。  
 相談員（非常勤の専門職）を1名、事務補助（臨時職員）を1名配置。  
 テナント料は船堀ワークプラザ（ハローワーク木場のランチ）のスペースを借りているため不要であるが、通信費、消耗品費等の経費を計上しています。

**《実施の根拠となる法令等》**

- ・根拠法令なし。区の独自施策として実施

**《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》**

- ・利用者を支援するためのプログラム作りで民間団体（ディホーム等）と連携しています。

**《その他》**

- ・若年者就労支援の事業を行う国や都の機関と連携し、各所が持つ機能を本区に誘導しています。

連携先：ハローワーク、雇用・能力開発機構東京センター、東京しごとセンター等  
 事例：ニート・フリーター就労支援セミナーの共同企画

平成18年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	14	事業名	ヤングほっとワークえどがわ
------	----	-----	---------------

所属名	生活振興部 地域振興課 生活就労支援係
-----	---------------------

所管課長評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施するべき事業である。	5					
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。					1	
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。	5					
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。	5					
6	受益者負担の額は適切である。	5					*受益者負担なし
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用可能性がある。			3			
8	民間事業者への委託等の可能性がある。			3			
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。				2		
10	経費を削減できる可能性がある。					1	

所管部長の意見等

目下、ヤングほっとワークえどがわのキャリアカウンセラー(非常勤職員)が専門能力をフルに発揮して就労支援を行っている。事業初年度は36人の若者を就職に結びつける成果をあげた。  
 今後、ニート・・・若年無業者 2004年時点で全国64万人(「総務省労働力調査」。労働力人口の約1%に相当)の就労支援を推進するが、主軸となる相談業務については、その大部分がマンパワーに依るため、現在の人員配置ではおのずと限界がある。  
 従って、将来目標を達成するための行政資源の投入量について、政策ニーズと所要経費のバランス、支援プログラムの有用性の検証、他機関の資源活用などを検討して、最小経費で最大効果を得るための決定をしていきたい。

# 平成18年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	14	<b>事業名</b>	ヤングほっとワークえどがわ
-------------	----	------------	---------------

<b>所属名</b>	生活振興部 地域振興課 生活就労支援係
------------	---------------------

## 外部評価委員評価

そう思う そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
【必要性】							
1	公費を投じて実施すべき事業である。		4				
2	他の事業と整理、統合する可能性がある。		4				
【有効性】							
3	目的を果たすために有効な事業である。		4				
4	成果が上がっている。		4				
【公平性】							
5	対象者や実施回数等は適切である。		4				
6	受益者負担の額は適切である。			3			*受益者負担なし
【民間活力の活用】 既に実施している場合は備考欄に表記し、評点は「1」とする。							
7	ボランティアやNPOの活用の可能性がある。		4				
8	民間事業者への委託等の可能性がある。		4				
【効率性】							
9	効率的に実施するために、工夫、改善等の可能性がある。		4				
10	経費を削減できる可能性がある。		4				

## 外部評価委員の意見

若年者の就労を促進するためには、忍耐が必要かと思うが、先輩方のアドバイスや工夫など、よい情報が就労の拡大に繋がるように願っている。  
 身近なところに就労を支援する窓口があることはよいが、ハローワークなど同様の事業があり、統合したほうが利用しやすいのではないかと感じる。  
 初年度としては、成果がでていていると思う。  
 15～24歳までの完全失業率から見ると、利用者数はまだまだ低いように思う。  
 雇用者側から見ると、学歴や技術力よりも、仕事に対する熱意や姿勢が大切である。素直な気持ちがあれば、技術面は就職してから伸びる。

評価欄の数字は、各項目の評価点です。